

※ 図書館は休校期間中開館しています。(水曜日のみ休館)



本の特集

令和2(2020)年
4・5月
青豊高校

コロナに打ち勝とう！新型インフルエンザに負けない心を育てる本
早く感染拡大が終息して、学校に活気が戻りますように！

人生の先輩からの言葉

「生きていくあなたへ」

105歳どうしても遺したかった言葉

日野原重明/幻冬社

重い病気を患いながら、最後まで生きることをあきらめない姿勢に感動を覚えます。ひと月にわたるインタビューには、これからも生きていく私たちへの愛のメッセージがたくさんこめられています。

今こそ心のトレーニング

10代のための「くじけない心」をつくる本

中野有美/大和出版

家からも出られずやりたいこともできず、暗いニュースばかり。不安になるのは当たり前。そんなとき「ポキッと折れてしまう」心から「しなやかな心」になれるところのトレーニングをしてみませんか？今が自分を鍛えなおすチャンスかもしれません。

1分セラピー

1分でカラダとココロの緊張を取り除く
リリーフセラピー

伊藤たかまさ/アチーブメント出版

カラダはつねにココロを感知して緊張・弛緩します。カラダの不調を取り除くためには、ココロの求めているものに気づくことが大切です。それはとてもシンプルで簡単。あなたも1分でココロをリセットしてみましょ。

生きる知恵を学ぼう

知らない損をする！国の制度をトコトン使う本

清水京武/KADOKAWA

突然失業！入院費が払えない！など、生活の困ったを国の制度を利用して解決する方法皆さん知ってますか？知らないことで生活に行き詰る若者もいます。ぜひ、この機会に国の制度を理解しておきましょう。

歴史から学びましょう。

「正しく怖がる感染症」

岡田晴恵/筑摩書房

感染症がどのように人に伝播していくのか、どう対処すべきなのかをパニックにならずに正しく理解することが大事です。なぜ、不要不急の外出を禁止するのか、感染症の歴史がそれを教えてくれます。

ヒマなときほど本を読む意味がある

「大不況には本を読む」

橋本治/中央公論新社

「出版は不況に強い」は幻か。不況下での出版業界の不振、活字離れ。作者の読書に人を呼び戻すための模索が続きます。不況だからとあきらめないうで、この状況を活かす発想の転換が必要。今こそ本を手に取り、じっくり浸るチャンスなのかもしれません。

写真を見て癒される

動物に学ぶ人生のヒント

「人生を楽しめ〜！」

平林美紀/森山晋平 著

パイン・パノル

「まわりを見ることは、ゆとりを持つこと」。ウマは人間と比べ視野が広く、真後ろ以外ほぼすべて見えているそうです。視野が、広がれば余裕が生まれ、こころを広く持つことができます。牧場の動物たちの写真とともに毎日をハッピーに過ごすメッセージ（名言）をくれます。

痛快エンタメで気分リフレッシュ！

『アキラとあきら』

池井戸潤/徳間書店

零細工場の息子と大手海運会社の御曹司。境遇の違うふたりのアキラが、運命に立ち向かい切り開く姿を丹念に描きます。本の厚さにひるまず読んでみてください。逆境をばねにして乗り越えたときの爽快感を味わえます。

考え方のヒントに

人生の「質」を上げる孤独をたのしむ力

矢堂登紀雄/日本実業出版社

「孤独はさびしい」と思っている人必見。孤独をたのしめるようになるとこんなに世界が変わります。誰かに寄りかからなくても人生は明るい。考え方のくせを知って自分を変えてみませんか？

話題の本です！



『ペスト』

カミュ/新潮社

1947年刊行の長編小説。コロナの影響で再注目され、今年発行部数が100万部を突破。アルジェリアの港町でペストが拡大する様子が、コロナに直面する現代社会にそっくりと話題に。不気味なほど臨場感をもって私たちに伝わってきます。

※朝読書におすすめ

☆「高校生に読んでほしい50冊」新潮文庫「わたしの一行大賞」(作品募集中)

→館内に図書展示中

☆「岩波ジュニア文庫」「ちくまプリマー文庫」

→紹介文図書館前に掲示中

☛ ※紹介した図書は図書館にあります。